学　　事

1　児童生徒・教職員等

（1）児童生徒・教職員等一覧

ア　小　　学　　校　　（令和8年5月1日現在）

区分 / 学校名		児童数			学級数	教員数			事職員務数	栄教職員養数	校務員数	給調理員食数
		男	女	計		男	女	計				
1	高　槻　小	222	207	429	21	11	17	28	1	1	0	1
2	芥　川　小	386	368	754	33	17	27	44	2	1	0	1
3	磐　手　小	277	278	555	26	13	23	36	2	0	0	1
4	清　水　小	350	310	660	30	14	27	41	2	0	0	1
5	如　是　小	196	173	369	21	11	19	30	1	1	0	2
6	阿武野小	309	306	615	30	16	23	39	2	1	0	1
7	五　領　小	104	103	207	12	8	13	21	1	0	0	1
8	桃　園　小	346	344	690	33	16	28	44	2	1	0	1
9	三箇牧小	102	94	196	10	6	11	17	1	0	0	1
10	川　西　小	129	128	257	15	8	13	21	1	0	0	1
11	富　田　小	122	103	225	12	8	12	20	1	0	0	－
12	樫　田　小	31	26	57	6	5	5	10	1	0	0	1
13	大　冠　小	141	159	300	17	11	15	26	1	1	0	1
14	南大冠小	226	229	455	20	11	19	30	1	1	0	1
15	柳　川　小	132	113	245	13	8	11	19	2	0	0	1
16	北大冠小	250	241	491	22	13	15	28	1	0	0	1
17	桜　台　小	157	136	293	19	11	18	29	1	0	0	1
18	芝　生　小	179	195	374	22	10	19	29	1	0	0	1
19	日吉台小	436	444	880	33	17	26	43	2	1	0	1
20	西大冠小	268	225	493	24	12	21	33	1	0	0	1
21	玉　川　小	82	82	164	10	8	11	19	1	1	0	1

区分 / 学校名		児童数			学級数	教員数			事務職員数	栄養教職員数	校務員数	給食調理員数
		男	女	計		男	女	計				
22	上牧小	156	109	265	16	9	14	23	1	1	0	1
23	北清水小	204	176	380	18	10	17	27	1	1	0	2
24	赤大路小	217	197	414	19	10	21	31	1	1	0	1
25	津之江小	181	152	333	17	10	14	24	1	1	0	1
26	冠小	161	166	327	15	9	15	24	1	1	0	1
27	柱本小	66	61	127	9	6	13	19	1	1	0	1
28	郡家小	243	241	484	23	13	19	32	1	0	0	1
29	寿栄小	145	165	310	16	10	15	25	1	1	0	2
30	土室小	160	120	280	17	9	13	22	1	0	0	1
31	五百住小	169	187	356	17	9	16	25	1	1	0	1
32	竹の内小	270	258	528	25	11	22	33	1	0	0	1
33	安岡寺小	210	154	364	16	8	15	23	1	1	0	2
34	松原小	170	189	359	17	9	15	24	1	0	0	1
35	若松小	91	106	197	12	8	13	21	1	1	0	1
36	丸橋小	223	234	457	21	13	20	33	1	1	0	1
37	奥坂小	363	287	650	26	12	24	36	1	1	0	1
38	真上小	207	195	402	19	11	15	26	1	0	0	1
39	南平台小	215	188	403	21	11	19	30	1	1	0	2
40	北日吉台小	281	266	547	22	11	20	31	1	1	0	1
41	阿武山小	215	189	404	17	10	15	25	1	0	0	1
合計		8,392	7,904	16,296	792	433	708	1,141	48	23	0	45

※ 教員数には、校長、教頭、教諭、養護教諭、講師、養護助教諭、再任用教諭を含む。

※ 栄養教職員数には、技師、栄養教諭、臨時技師を含む。

イ　中　　学　　校　　（令和8年5月1日現在）

区分 / 学校名		生徒数			学級数	教員数			事務職員数	栄養教職員数	校務員数	給食調理員数
		男	女	計		男	女	計				
1	第一中	277	211	488	20	19	15	34	4	0	0	－
2	第二中	371	397	768	29	24	28	52	2	1	0	2
3	第三中	235	294	529	24	23	18	41	2	0	0	－
4	第四中	173	148	321	16	14	20	34	1	1	0	2
5	第六中	305	246	551	24	22	21	43	2	0	0	－
6	第七中	76	89	165	10	14	11	25	1	0	0	－
7	第八中	249	235	484	20	20	15	35	1	0	0	－
8	第九中	281	297	578	24	21	22	43	1	0	0	－
9	第十中	211	218	429	17	19	15	34	1	1	0	2
10	柳川中	145	136	281	13	17	10	27	1	0	0	－
11	阿武野中	246	226	472	22	22	23	45	2	0	0	－
12	五領中	123	139	262	11	16	10	26	1	0	0	－
13	城南中	138	162	300	16	20	13	33	1	0	0	－
14	川西中	133	150	283	15	10	16	26	1	0	0	－
15	如是中	153	177	330	18	17	16	33	1	0	0	－
16	冠中	217	203	420	18	17	20	37	1	0	0	－
17	芝谷中	338	341	679	25	30	12	42	1	0	0	－
18	阿武山中	210	237	447	19	18	16	34	1	1	0	1
合計		3,881	3,906	7,787	341	343	301	644	25	4	0	7

※ 教員数には、校長、教頭、教諭、養護教諭、講師、養護助教諭、再任用教諭を含む。

※ 栄養教職員数には、技師、栄養教諭、臨時技師を含む。

ウ 幼　稚　園　　（令和8年5月1日現在）

区分 / 園名		園児数				学級数	教員数		
		3歳児	4歳児	5歳児	計		男	女	計
1	高槻幼	－	2	4	6	1	0	2	2
2	南大冠幼	－	7	9	16	1	0	4	4
3	樫田幼	－	－	－	－	－	－	－	－
4	芝生幼	－	13	18	31	2	0	4	4
5	西大冠幼	8	22	17	47	3	0	7	7
6	北清水幼	11	14	9	34	2	0	6	6
7	津之江幼	－	6	7	13	1	0	2	2
8	五百住幼	15	16	13	44	2	0	5	5
9	松原幼	13	16	8	37	2	0	5	5
10	桜台認定こども園	20	31	24	75	5	0	7	7
11	高槻認定こども園	15	15	19	49	6	0	8	8
12	五領認定こども園	9	4	10	23	3	0	5	5
13	三箇牧認定こども園	7	5	8	20	2	0	6	6
14	たかつき芥川認定こども園	17	12	11	40	4	1	9	10
15	阿武野認定こども園	19	23	21	63	3	0	7	7
合計		134	186	178	498	37	1	77	78

※ 教員数には、園長、保育教諭、教諭、養護教諭、育児休業代替任期付職員を含む。

※ 樫田幼稚園は令和8年度休園

※ 認定こども園の園児数は3歳児・4歳児・5歳児の1号認定子どもの利用者数

※ 認定こども園の教員数は主に3歳児・4歳児・5歳児の教育課程を担当する人数

（２）　児童・生徒数の推移

ア　児童生徒数　　（各年度5月1日現在）

年度	小学校		中学校		合計	
	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童・生徒数	学級数
17	19,036	679	8,566	277	27,602	956
18	19,559	715	8,437	277	27,996	992
19	19,769	729	8,555	286	28,324	1,015
20	19,745	728	8,629	286	28,374	1,014
21	19,884	752	8,825	292	28,709	1,044
22	19,801	755	8,918	297	28,719	1,052
23	19,517	757	9,124	315	28,641	1,072
24	19,147	765	9,313	323	28,460	1,088
25	18,992	796	9,348	333	28,340	1,129
26	18,977	809	9,176	334	28,153	1,143
27	18,789	815	9,087	333	27,876	1,148
28	18,619	815	8,976	326	27,595	1,141
29	18,421	824	8,965	324	27,386	1,148
30	18,252	832	8,753	328	27,005	1,160
元	17,793	827	8,742	337	26,535	1,164
2	17,484	813	8,713	330	26,197	1,143
3	17,237	807	8,780	334	26,017	1,141
4	17,151	806	8,641	344	25,792	1,150
5	16,813	784	8,458	341	25,271	1,125
6	16,592	776	8,233	339	24,825	1,115
7	16,595	779	7,962	336	24,557	1,115
8	16,296	792	7,787	341	24,083	1,133

イ　園児数　　（各年度5月1日現在）

年度	幼稚園	
	園児数	学級数
16	1,731	61
17	1,660	62
18	1,728	60
19	1,654	62
20	1,641	57
21	1,608	58
22	1,620	58
23	1,595	57
24	1,600	57
25	1,534	54
26	1,425	51

年度	幼稚園	
	園児数	学級数
27	1,362	53
28	1,279	51
29	1,124	44
30	992	40
元	1,006	47
2	881	45
3	750	40
4	637	37
5	573	33
6	494	33
7	553	37
8	498	37

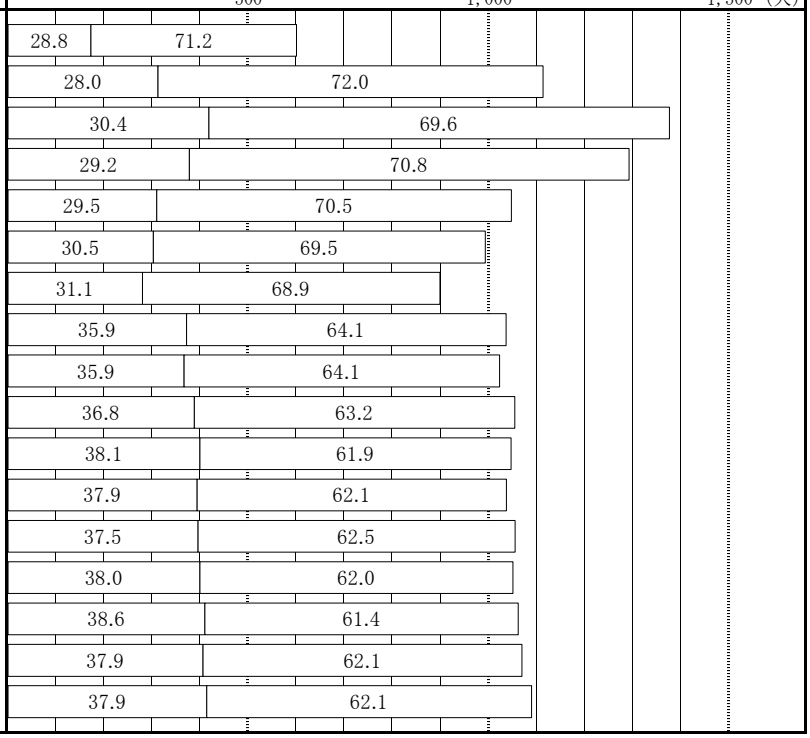
※　平成２７年度以降は認定こども園の１号認定子どもの人数を含む。

（３）教員構成

ア　教員性別構成の推移

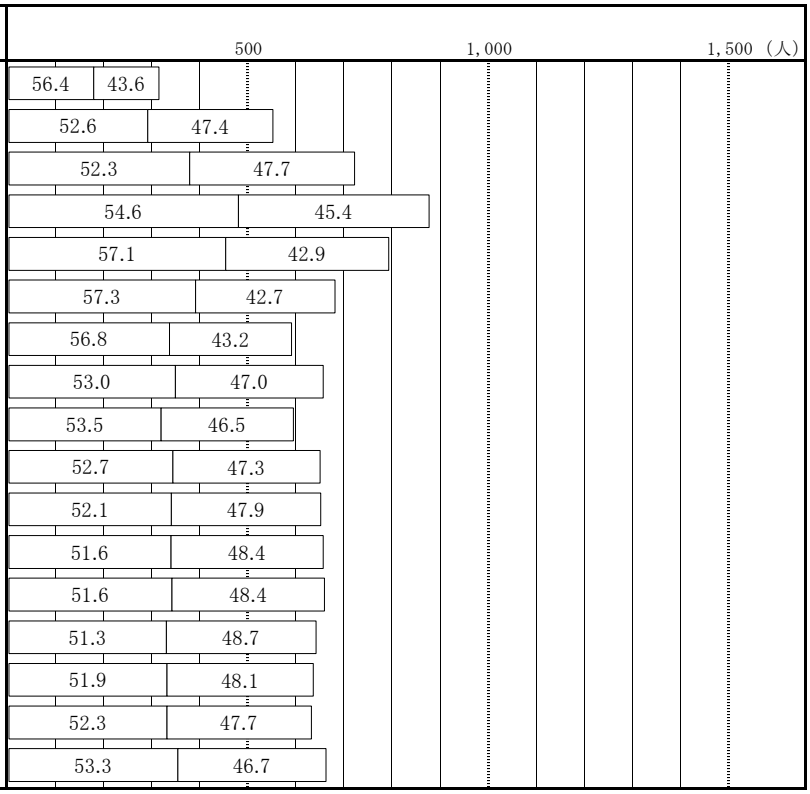
小　学　校

年度	男（人）	女（人）	男（%）	女（%）	計（人）
45	181	448	28.8	71.2	629
50	327	839	28.0	72.0	1,166
55	438	1,003	30.4	69.6	1,441
60	395	958	29.2	70.8	1,353
2	324	773	29.5	70.5	1,097
7	317	723	30.5	69.5	1,040
12	293	648	31.1	68.9	941
17	389	696	35.9	64.1	1,085
22	384	687	35.9	64.1	1,071
27	406	698	36.8	63.2	1,104
2	418	678	38.1	61.9	1,096
3	412	674	37.9	62.1	1,086
4	414	691	37.5	62.5	1,105
5	418	682	38.0	62.0	1,100
6	429	683	38.6	61.4	1,112
7	425	695	37.9	62.1	1,120
8	433	708	37.9	62.1	1,141



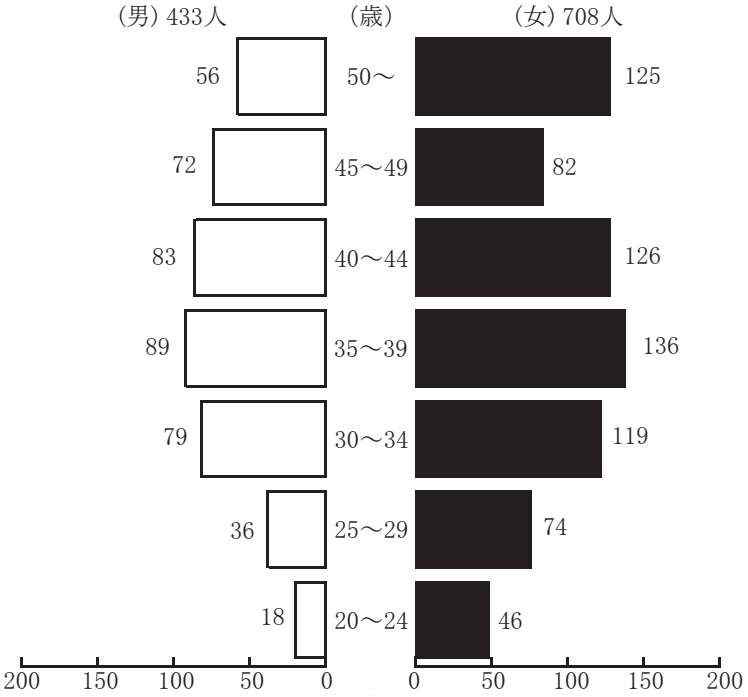
中　学　校

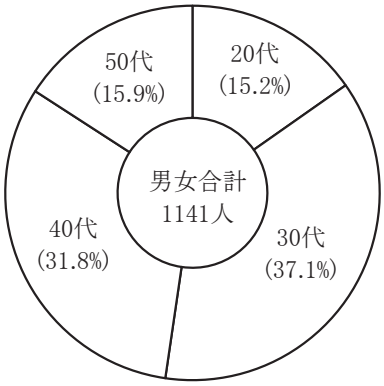
年度	男（人）	女（人）	男（%）	女（%）	計（人）
45	172	133	56.4	43.6	305
50	282	254	52.6	47.4	536
55	367	335	52.3	47.7	702
60	466	387	54.6	45.4	853
2	440	331	57.1	42.9	771
7	379	283	57.3	42.7	662
12	326	248	56.8	43.2	574
17	338	300	53.0	47.0	638
22	309	269	53.5	46.5	578
27	333	299	52.7	47.3	632
2	330	303	52.1	47.9	633
3	329	309	51.6	48.4	638
4	331	310	51.6	48.4	641
5	320	304	51.3	48.7	624
6	321	297	51.9	48.1	618
7	321	293	52.3	47.7	614
8	343	301	53.3	46.7	644



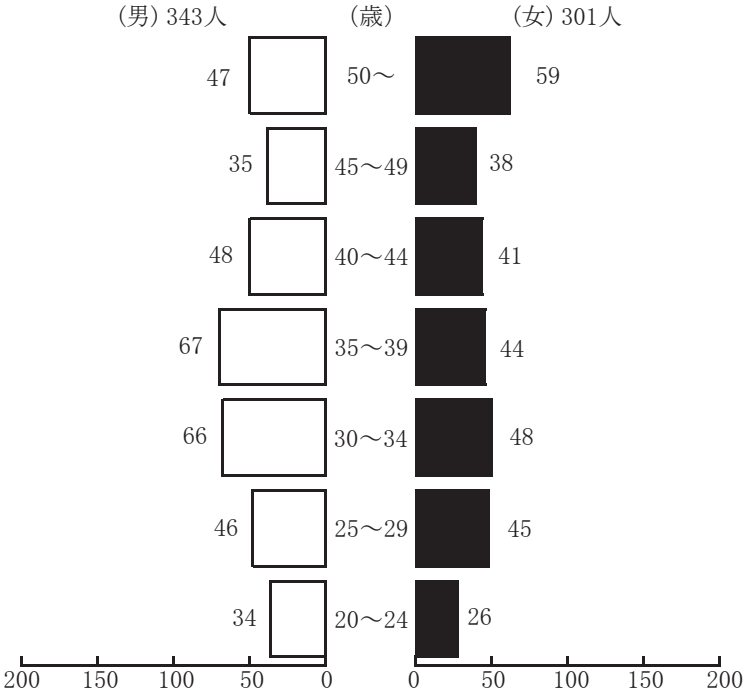
(2)　令和8年度教員年齢・性別構成

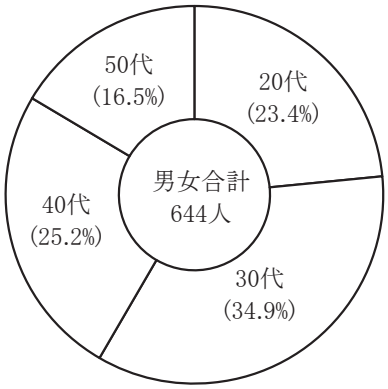
小 学 校





中 学 校





※ 教員数は、5月1日現在の校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師、養護助教諭、再任用教諭が対象で、年齢は令和8年4月1日現在の満年齢

2　校区一覧

（１）小学校・中学校校区

（令和 8 年 5 月 1 日現在）

通学校		区域
中学校	小学校	
第一中	高槻小	・城内町　・本町　・土橋町　・八丁西町　・大学町　・北園町 ・高槻町 1～10 番　・城北町二丁目　・京口町　・大手町 ・城東町　・八幡町　・野見町 1･2･6 番　・上本町
	桃園小	・高槻町 11～22 番　・紺屋町　・上田辺町　・明田町　・桜町 ・中川町　・桃園町　・城北町一丁目　・城西町　・出丸町 ・野見町 3～5 番　・庄所町　・南庄所町　・高西町
第二中	芥川小◎	・芥川町一・二丁目　・真上町一・二丁目 ・白梅町 1･4 番（4 番は 1･3 号のみ）　・紫町 ・天神町一・二丁目【天神町一丁目15番（天神町公園以北地区のみ）・天神町二丁目 20～29 番･31～35 番を除く】 ・殿町【15 番を除く】　・月見町 1～19 番
	川西小◎	・清福寺町
	郡家小◎	・郡家新町　・郡家本町　・今城町　・幸町 3･4 番 ・氷室町一丁目　・宮田町三丁目
	真上小	・大蔵司一丁目　・西真上一・二丁目　・名神町 ・緑が丘一～三丁目【緑が丘二丁目のうち 12 番～15 番を除く】 ・真上町三・四丁目　・殿町 15 番
第三中	芝生小◎	・芝生町一・四丁目　・栄町二丁目 19～30 番 ・栄町三丁目 13～17 番　・栄町四丁目
	寿栄小◎	・寿町一丁目 1～21 番　・寿町二丁目 1～21 番　・栄町一丁目 ・栄町二丁目 1～18･31～51 番　・栄町三丁目 1～12 番
	丸橋小	・芝生町二・三丁目　・寿町一丁目 22～30 番 ・寿町二丁目 22～45 番　・寿町三丁目
第四中	富田小	・昭和台町一・二丁目　・富田町二～六丁目
	赤大路小	・赤大路町　・富田丘町　・北昭和台町　・富田町一丁目 11 番～ ・大畑町 1～23 番　・幸町 1･2･7･8 番
第六中	大冠小	・東天川一～三丁目　・藤の里町　・天川町　・天川新町 ・日向町　・須賀町 1～36 番･57～69 番
	北大冠小	・緑町　・天王町　・宮野町　・野田一～四丁目
	松原小	・明野町　・永楽町　・沢良木町　・千代田町　・松原町 ・南松原町

通学校		区域
中学校	小学校	
第七中	三箇牧小	・唐崎西二丁目　・唐崎南一～三丁目　・唐崎北一～三丁目 ・唐崎中一～四丁目　・三島江一～四丁目　・玉川一～四丁目 ・大字西面　・大字三島江　・大字唐崎　・西面南一～四丁目 ・西面北一・二丁目　・西面中一・二丁目　・三箇牧一・二丁目
	柱本小	・柱本南町　・柱本新町　・柱本一～七丁目
第八中	磐手小	・八丁畷町　・山手町一・二丁目　・安満御所の町 ・安満磐手町　・安満東の町　・安満西の町　・安満北の町 ・安満中の町　・安満新町　・高垣町　・紅茸町 ・成合東の町　・成合南の町 ・成合北の町【関西電力高圧線（北大阪高槻線 15 号）以北府道伏見柳谷高槻線以西の地域を除く】 ・成合中の町　・大字成合　・別所中の町　・別所新町 ・別所本町【14～19・32～36・50 番を除く】　・大字川久保
	奥坂小	・古曽部町一～五丁目　・別所本町 14～19･32～36･50 番 ・美しが丘一・二丁目 ・白梅町【1･4 番（4 番は 1・3 号のみ）を除く】
第九中	清水小	・浦堂一～三丁目　・浦堂本町【45～48 番を除く】 ・宮之川原元町　・宮之川原一～五丁目 ・西之川原一・二丁目　・塚脇一～五丁目　・黄金の里一丁目 ・東城山町　・大蔵司二・三丁目 ・大字原 2369･2372･2372-1･2376-1･2376-3･2429･2431･2434･2435･2439･2444･2464 番地
	樫田小	・大字田能　・大字中畑　・大字出灰　・大字二料　・大字杉生 ※他の校区からの入学を認める特認校
	北清水小	・安岡寺町四～六丁目　・松が丘三・四丁目 ・大字原【2369･2372･2372-1･2376-1･2376-3･2429･2431･2434･2435･2439･2444･2464 番地を除く】 ・高見台　・清水台一・二丁目
	安岡寺小◎	・松が丘一・二丁目
第十中	桜台小	・西冠三丁目　・登町　・下田部町二丁目　・堤町　・西大樋町
	竹の内小	・竹の内町　・南大樋町　・番田一・二丁目 ・大塚町四・五丁目　・北大樋町　・辻子三丁目

通学校		区域
中学校	小学校	
柳川中	柳川小	・北柳川町　・柳川町一・二丁目　・南総持寺町　・西町
	芝生小◎	・川添二丁目
	玉川小	・牧田町　・唐崎西一丁目　・玉川新町
	寿栄小◎	・川添一丁目
阿武野中	阿武野小	・岡本町　・土室町　・氷室町二～四丁目　・宮田町一・二丁目 ・大畑町 24～27 番
	南平台小	・南平台一～五丁目　・奈佐原一丁目 5～9 番　・奈佐原三丁目 ・霊仙寺町一・二丁目　・氷室町五・六丁目　・大字奈佐原 ・奈佐原元町　・萩谷月見台　・大字萩谷
五領中	五領小	・萩之庄一～五丁目　・梶原一～六丁目　・上牧山手町 ・上牧北駅前町　・上牧南駅前町　・五領町　・神内一・二丁目 ・井尻一・二丁目　・道鵜町一～六丁目　・野田東一・二丁目 ・東天川四・五丁目　・前島一～五丁目
	上牧小	・東上牧一～三丁目　・上牧町一～五丁目　・淀の原町 ・梶原中村町
城南中	西大冠小	・城南町一～四丁目　・下田部町一丁目　・西冠一丁目
	若松小	・春日町　・西冠二丁目　・若松町
川西中	芥川小◎	・南芥川町　・芥川町三・四丁目
	川西小◎	・朝日町 3･4 番　・川西町一・二丁目
	津之江小	・津之江町一丁目　・川西町三丁目　・津之江北町 ・東五百住町一丁目 20～22･24～26･29･30･34～36･38･39 番 ・東五百住町二丁目 11～19･38 番
	郡家小◎	・朝日町 1 番
如是中	如是小	・如是町　・津之江町二・三丁目
	五百住小	・桜ケ丘北町　・桜ケ丘南町　・東五百住町三丁目 ・西五百住町　・登美の里町　・富田町一丁目 1～10 番 ・東五百住町一丁目 1～16･18 番 ・東五百住町二丁目 1～5･21～28･30～37 番
冠中	南大冠小	・深沢町一・二丁目　・大塚町一～三丁目　・深沢本町
	冠小	・東和町　・大冠町一～三丁目　・辻子一・二丁目　・松川町 ・須賀町 37～56 番

通学校		区域
中学校	小学校	
芝谷中	日吉台小	・日吉台一・六番町　・奥天神町一～三丁目　・寺谷町 1～13 番 ・宮が谷町　・真上町五・六丁目 ・芝谷町 50･53･55･65 番　・緑が丘二丁目 12～15 番 ・天神町一丁目15番（天神町公園以北地区のみ） ・天神町二丁目 20～29･31～35 番 ・月見町 30～35 番
	安岡寺小◎	・安岡寺町一～三丁目　・芝谷町【50・53・55・65 番を除く】 ・浦堂本町 45～48 番
	北日吉台小	・日吉台二～五・七番町　・花林苑 ・成合北の町【関西電力高圧線（北大阪高槻線 15 号）以北府道伏見柳谷高槻線以西の地域】 ・弥生が丘町　・寺谷町【1～13 番を除く】　・成合西の町
阿武山中	土室小	・上土室一・四～六丁目　・塚原一丁目【4･5･7 番を除く】 ・塚原三～六丁目　・阿武野一丁目 1～6 番
	阿武山小	・奈佐原一丁目【5～9 番を除く】　・奈佐原二・四丁目 ・上土室二・三丁目　・大和一・二丁目 ・阿武野一丁目【1～6 番を除く】　・阿武野二丁目 ・塚原一丁目 4･5･7 番　・塚原二丁目

※　◎印の小学校は、中学校への通学校が 2 校にまたがる。

（２）調整区域

下記の調整区域に居住されている児童の保護者は、入学（転入学を含む）時に高槻市教育委員会に就学の指定校の変更申請を行えば、下記の調整校に通学をすることができます。

なお、保護者の希望により就学した学校の再度の変更は認めておりません。

本来校	調整校	調整区域
高槻小学校	桃園小学校	野見町 6 番の一部
桃園小学校	高槻小学校	城北町一丁目の 1･2･4 番のうち道路に面した商店街
上牧小学校	五領小学校	梶原中村町
五百住小学校	赤大路小学校	富田町一丁目 6 番

（３）幼稚園園区

※園区につきましては、平成３０年４月１日付けで廃止しました。

3　奨学金

(1) 制度の概要

扶養者が高槻市内在住で、修学の希望があるにもかかわらず経済的理由のために高等学校、高等専門学校、大学及び専修学校等への修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることにより教育の機会均等を図る。

(2) 貸付状況（令和７年度）

区　　分	奨　学　金	
	貸　付　者（人）	貸　付　額（円）
高　校　生　等	17	1,824,000
大　学　生　等	10	1,608,000
計	27	3,432,000

4　就学援助

(1) 制度の概要

本市の公立小・中学校に就学する児童生徒（翌年度に小学校入学予定の児童を含む。）で、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、入学準備金、臨海・林間学校費などを扶助し、義務教育の円滑な遂行を図る。

(2) 支給状況（令和７年度）

区　　分	就　学　援　助	
	認　定　者（人）	支　給　額（円）
小学校入学予定者	213	12,153,780
小　学　校	1,648	139,496,853
中　学　校	933	99,967,186

5　支援学級就学奨励

(1) 制度の概要

本市の公立小・中学校の支援学級に就学する児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、学用品費、修学旅行費、入学準備金、臨海・林間学校費などを扶助し、支援教育の振興を図る。

(2) 支給状況（令和７年度）

区　　分	支　援　学　級　就　学　奨　励	
	認　定　者（人）	支　給　額（円）
小　学　校	698	25,011,651
中　学　校	285	16,159,394

学 校 園 教 育

1　教 職 員 研 修（教育センター分をのぞく）

（令和７年度）

名　　称	回　数	研 修 講 座 内 容
特別支援教育校内委員説明会	2	支援学級に係る教育課程説明会　1 特別支援校内委員学級設置説明会　1
不登校担当者連絡会	6	ユニット交流会　3 講師招聘研修　1 全大会事例研究会　2
生徒指導主事連絡協議会	１１	研究協議　１１
小学校生徒指導担当者連絡会	5	研究協議　5
進路指導研究協議会	１１	研究協議　１１

2　使用教科用図書（令和８年度）

(1) 小　学　校

教　科　名	図　　書　　名	発　行　者　名
国　　語	国　語	光村図書出版
書　　写	書　写	光村図書出版
社　　会	新編　新しい社会	東　京　書　籍
地　　図	楽しく学ぶ　小学生の地図帳	帝　国　書　院
	（６年）【令和５年度より継続使用】 楽しく学ぶ　小学生の地図帳	帝　国　書　院
算　　数	みんなと学ぶ　小学校　算数	学　校　図　書
理　　科	新編　新しい理科	東　京　書　籍
生　　活	わくわく　せいかつ／いきいき　せいかつ	新興出版社啓林館
音　　楽	小学生の音楽	教育芸術社
図画工作	図　画　工　作	日本文教出版
家　　庭	わたしたちの家庭科	開　隆　堂　出　版
保　　健	新・みんなの保健	Ｇａｋｋｅｎ
外　国　語	Ｈｅｒｅ　Ｗｅ　Ｇｏ！	光村図書出版
特別の教科 道　　徳	新編　新しい道徳	東　京　書　籍

(2) 中　学　校

教　科　名	図　　書　　名	発　行　者　名
国　　語	現代の国語	三　　省　　堂
書　　写	中学書写	光村図書出版
	（３年）【令和６年度より継続使用】 中学書写	教　育　出　版

社会・地理	新編　新しい社会　地理	東京書籍
社会・歴史	新編　新しい社会　歴史	東京書籍
	（３年）【令和６年度より継続使用】 新しい社会　歴史	東京書籍
社会・公民	中学社会　公民的分野	日本文教出版
地図	中学校社会科地図	帝国書院
	（３年）【令和６年度より継続使用】 中学校社会科地図	帝国書院
数学	未来へひろがる数学	新興出版社啓林館
理科	新編　新しい科学	東京書籍
音楽（一般）	中学生の音楽	教育芸術社
音楽（器楽合奏）	中学生の器楽	教育芸術社
	（３年）【令和６年度より継続使用】 中学生の器楽	教育芸術社
美術	美　術	開隆堂出版
保健体育	最新　中学校保健体育	大修館書店
	（３年）【令和６年度より継続使用】 新しい保健体育	東京書籍
技術・家庭（技術分野）	新　技術・家庭　技術分野　明日を創造する／スキルアシスト	教育図書
	（３年）【令和６年度より継続使用】 New 技術・家庭　技術分野　明日を創造する/技術ハンドブック	教育図書
技術・家庭（家庭分野）	新　技術・家庭　家庭分野　暮らしを創造する	教育図書
	（３年）【令和６年度より継続使用】 New 技術・家庭　家庭分野　くらしを創造する	教育図書
英語	Sunshine English Course	開隆堂出版
特別の教科 道徳	中学道徳　あすを生きる／道徳ノート	日本文教出版

3　中学卒業者年度別進路状況（過去５年間）

（各年度とも、翌年度５月１日現在）

区分／年度	卒業者総数（人）	進学者数（人）						専修学校等その他（人）	就職者（人）
		高等学校			高等専門学校	支援学校	計		
		全日制	定時制	通信制					
3	2,953	2,661	11	208	10	35	2,925	19	9
4	2,956	2,620	11	258	18	30	2,937	18	1
5	2,903	2,585	16	245	10	29	2,885	18	0
6	2,808	2,500	11	221	13	36	2,781	23	4
7	2,788	2,513	19	192	11	22	2,757	24	7

特別支援教育

1　支援学級及び通級指導教室の設置状況（令和8年5月1日現在）

(1)小学校

種別／学校名	支援学級数							通級指導教室数			
	弱視	難聴	知的	肢体	病弱	情緒	合計	言語	情緒	発達	合計
高槻小			1	1	1	4	7			1	1
芥川小	1		3		1	4	9			3	3
磐手小			3			5	8			2	2
清水小		1	2	1		6	10			2	2
如是小			2			6	8			1	1
阿武野小	1		2	1		6	10			1	1
五領小			1		1	3	5			1	1
桃園小		1	2			9	12			1	1
三箇牧小			1			2	3			1	1
川西小			1			2	3			1	1
富田小			1			3	4			1	1
樫田小							0			1	1
大冠小			1			5	6			1	1
南大冠小			1			4	5			1	1
柳川小			1	1		2	4			1	1
北大冠小			1			5	6			1	1
桜台小		1	2			5	8			1	1
芝生小		1	1	1		7	10			1	1
日吉台小	1		1	1		2	5			2	2
西大冠小			2	1		5	8			2	2
玉川小			2			2	4			1	1
上牧小			1	1		2	4			1	1
北清水小			2			3	5			1	1
赤大路小			1		1	4	6			2	2
津之江小			1			3	4			1	1
冠　　小			1			2	3			1	1
柱本小			1			2	3			1	1
郡家小			2			5	7			2	2
寿栄小			1			3	4			1	1
土室小			1			5	6			1	1
五百住小			1			4	5			1	1
竹の内小		1	2			6	9			1	1
安岡寺小						3	3			1	1
松原小			1	1		3	5			1	1
若松小			1	1		2	4			1	1
丸橋小			2			4	6			2	2
奥坂小			2	1		3	6			1	1
真上小		1	1			4	6			1	1
南平台小			1		2	6	9			1	1
北日吉台小			2			3	5			1	1
阿武山小			1			3	4			1	1
合計	3	6	56	11	6	157	239			50	50

(2)中学校

種別／学校名	支援学級数							通級指導教室数			
	弱視	難聴	知的	肢体	病弱	情緒	合計	言語	情緒	発達	合計
第一中			3			2	5			1	1
第二中			3			4	7			2	2
第三中	1		3			4	8			1	1
第四中			1		1	4	6			2	2
第六中			1			6	7			2	2
第七中			1			3	4			1	1
第八中		1	1			3	5			1	1
第九中	1		1	1		4	7			2	2
第十中			1			3	4			1	1
柳川中			2			2	4			1	1
阿武野中			2		1	6	9			1	1
五領中			1			1	2			1	1
城南中			1	1	1	4	7			1	1
川西中			2			4	6			1	1
如是中	1		1			6	8			1	1
冠　　中			1			4	5			1	1
芝谷中			1		1	4	6			1	1
阿武山中			1			5	6			1	1
合計	3	1	27	2	4	69	106			22	22

2　入級対象と指導のねらい

種　　別	入　級　対　象	指　導　に　つ　い　て
弱視学級	視力、視野、色覚など外界の事物や現象を見る機能に障がいがある児童生徒	一人一人が保有する視覚を最大限活用するための機器の扱い方等に関する指導
難聴学級	聴覚に障がいがあるため、言葉やきこえの指導が必要な児童生徒	発達段階に応じて指文字や手話等を取り入れ、書き言葉の習得や言葉の理解についての指導
知的障がい学級	原則として重度の重複障がいを伴わない知的障がい児童生徒	基本的な生活習慣の確立、日常生活に必要な言語や数量、生活技能などの指導
肢体不自由学級	四肢や体幹に運動機能の障がい等がある児童生徒	状態に応じた適切な教材・教具を用いて、身体の動きやコミュニケーションの力を育てるなどの指導
病弱・身体虚弱学級	医療（通院）及び健康維持のために生活規制を必要とする児童生徒	身体面の健康維持とともに、病気に対する不安感や自信の喪失などに対するメンタル面の健康維持のための指導
病院内学級	内科疾患等で一定期間入院が必要で医師に学習可能と認められた児童	前籍校と連携を図りながら、身体面やメンタル面での健康維持に関する指導
施設内学級	様々な要因などにより、集団になじみにくい児童生徒	大きな集団が苦手な児童生徒、個別の指導が必要な児童生徒に教科指導を中心とした指導
自閉症・情緒障がい学級	情緒の現れ方を自分の意志でコントロールできないことが継続し、生活に支障となる状態のある児童生徒	言語の理解と使用や、場に応じた適切な行動などができるようにするための指導
発達障がい通級指導教室	通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別の指導を必要とする児童生徒	個別指導やグループ指導による指導形態で、主として対人関係、コミュニケーション等の指導を行い、社会的適応力を高める指導

学　校　安　全

1　学校安全の領域

学校安全が対象とする領域としては、「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」の３つがある。

学校を取り巻く危機事象は、時代や社会の変化に伴って変わっていくものであり、従来想定されなかった新たな危機事象の出現などに応じて、学校安全の在り方を柔軟に見直していくことが必要となる。

（１）　生活安全

学校・家庭など日常生活で起こる事件・事故を取り扱う。誘拐や傷害などの犯罪被害防止も含まれる。

（２）　交通安全

様々な交通場面における危険と安全、事故防止が含まれる。

（３）　災害安全

地震・津波災害、火山災害、風水（雪）害等の自然災害に加え、火災や原子力災害も含まれる。

2　学校安全の活動分野

学校安全の活動は、「安全教育」、「安全管理」、「組織活動」という３つの主要な活動から構成される。

（１）　安全教育

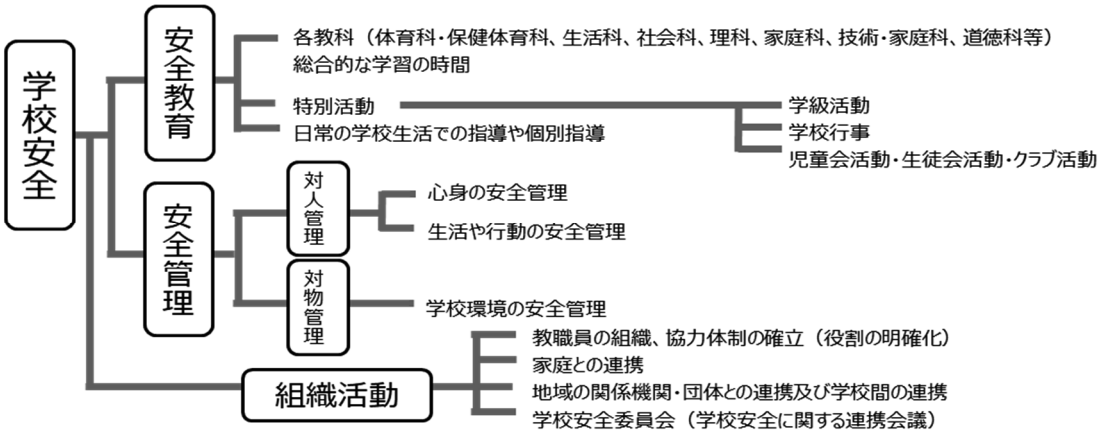
児童生徒等が自らの行動や外部環境に存在する様々な危険を制御して、自ら安全に行動したり、他の人や社会の安全のために貢献したりできるようにすることをめざす。

（２）　安全管理

児童生徒等を取り巻く環境を安全に整えることをめざす。

（３）　組織活動

安全教育及び安全管理の活動を円滑に進めるための学校内外の体制づくり。



3　学校安全に関する法令等

学校における安全教育は、主に学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準として定める学習指導要領等を踏まえ、地域や学校の実態に応じて、学校の教育活動全体を通じて実施し、学校における安全管理・組織活動は、主に学校保健安全法に基づいて実施する。

これらの法令や国の「学校安全の推進に関する計画」等を踏まえ、本市では「学校安全の推進に関する指針」、「学校安全の手引」に基づき、教育委員会と学校とが連携して、安全・安心な学校づくりに取り組んでいる。

4　学校安全に関する方針

（１） 学校安全の推進に関する指針

今後の学校安全の方向性及びめざすべき姿を掲げるとともに、学校安全を推進するための４つの方策を定めている。

ア 方向性

（ア）中学校区で計画するグランドデザインに学校安全の取組を位置づけ、中学校区内での取組を推進する。
（イ）セーフティプロモーションスクール認証校の取組で得られた成果を普及する。
（ウ）学校安全計画・危機管理マニュアルを見直すサイクルを構築し、実効性を高める。
（エ）地域の多様な主体と密接に連携・協働し、安全対策を推進する。
（オ）学校園における実践的・実効的な安全教育を推進する。なお、学校での実施において、教科との関連を意識し、安全教育副読本「たかつき安全 NOTE」を活用する。
（カ）地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育・訓練を実施する。
（キ）事故情報や学校園の取組状況などのデータを活用する。
（ク）学校安全に関する意識の更なる向上を図る（学校園における安全文化の醸成）。

イ めざすべき姿

（ア）全ての児童生徒等が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けること。
（イ）学校管理下における児童生徒等の死亡事故の発生件数についてはゼロ、負傷・疾病の発生率について、より一層減少させること。

ウ ４つの方策

方　策	内　容
①学校安全に関する組織的取組の推進	校園長のリーダーシップのもと、学校安全計画に基づく実践的な活動や、危機管理マニュアルに基づく取組内容の充実を図る。
②家庭、地域、関係機関等との連携･協働による学校安全の推進	平素からの学校園と家庭・地域との関係づくりが非常時に児童生徒等の命や安全を守ることにつながることから、家庭や地域との連携・協働を推進する。
③安全に関する教育の充実	地域の実態及び児童生徒等の発達の段階を考慮して、学校園の特色を生かした安全教育の目標や指導の重点を設定し、教育課程を編成・実施する。
④安全管理の取組の充実	関係機関等と連携した安全点検を徹底するとととともに、事故等の未然防止や発生後の調査・検証、再発防止のための取組の改善・充実を一連のサイクルとして実施する。

（２） 学校安全の手引

高槻市の地域特性や実情に応じた安全教育、安全管理、組織活動のそれぞれの内容を解説したもので、各学校において、以下のような取組を実施する際の手引書として日々活用している。

- □　学校安全に関する組織的取組の推進
- □　家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全の推進
- □　安全教育の推進
- □　安全管理の充実

5　学校安全に関する主な取組

年　度	内　容
平成 6 年度	学校安全対策について（指針）を策定
平成 7 年度	高槻市学校・幼稚園安全教育の手引を作成
平成 13 年度	全中学校区に地域教育協議会を設置 不審者対応非常警報装置を設置
平成 16 年度	全小学校でセーフティボランティア制度を開始
平成 17 年度	全小学校校門への警備員配置 全小学校で校区安全マップを作成
平成 18 年度	全小学校に防犯ブザーを配付 高槻市立学校園における安全対策及び危機管理マニュアルを作成 全幼稚園・中学校にカメラ付インターホンを設置 体育館耐震化（～平成 20 年度）
平成 19 年度	全小学校にカメラ付インターホンを設置 全小中学校にＡＥＤを配備（～平成 21 年度）
平成 22 年度	校園舎耐震化（～平成 27 年度）
平成 23 年度	地域安全センターを設置（～平成 25 年度） 「こども見守り中」の旗制度を開始
平成 24 年度	全小中学校に一斉メール配信システムの導入
平成 26 年度	防災教育研究委嘱校（第八中学校区）を指定 防災シンポジウムの開催 防災教育の手引を作成
平成 27 年度	防災教育実践モデル校（城南中学校区）を指定 通学路安全推進会議を設置 校区安全マップの様式を統一
平成 28 年度	通学路防犯カメラを設置 ＩＣタグを活用した登下校メール導入
平成 30 年度	「通学路における危険と思われる箇所連絡窓口」を設置
令和元年度	学校安全対策について（指針）を改定 学校安全の手引を改定 学校安全推進モデル校（寿栄小学校）を指定 学校安全セミナーの開催
令和 2 年度	セーフティプロモーションスクールの認証を取得（寿栄小学校）

年　度	内　容
令和 3 年度	学校安全推進モデル校区（第三中学校区）を指定 安全教育副読本「たかつき安全ＮＯＴＥ」を作成
令和 4 年度	セーフティプロモーションスクールの認証を取得（第三中学校、芝生小学校、丸橋小学校） 学校安全対策について（指針）を改定
令和 5 年度	セーフティプロモーションスクールの再認証を取得（寿栄小学校）
令和 6 年度	学校安全の手引を改定 大阪教育大学学校安全推進センター、第三中学校区、高槻市教育委員会の３者による「安全協働学区協定」を締結
令和 7 年度	セーフティプロモーションスクールの再認証を取得（第三中学校、芝生小学校、寿栄小学校、丸橋小学校）

学　校　保　健

1　学校保健の概要

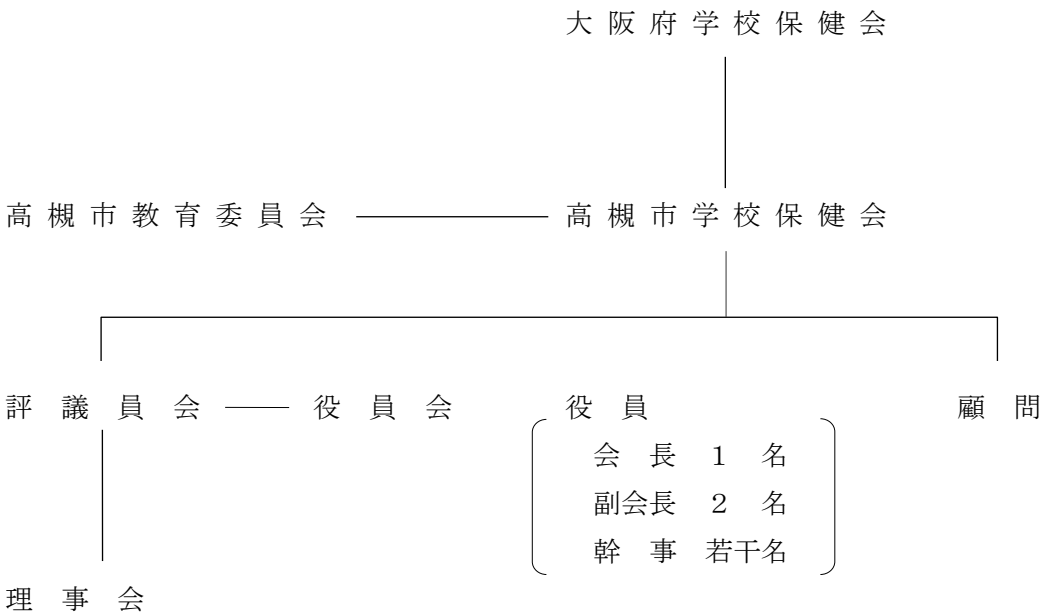
園児・児童・生徒・教職員の疾病の予防、早期発見と事後措置の適正化に努めるとともに、関係機関との協力体制を整え、保健指導、保健活動を充実し、また安全管理にも留意することにより、学校保健の振興を図る。

2　学校保健会

（1）　概　　要

高槻市における学校保健の振興を図り、施策に寄与することを目的とし、保健衛生思想の普及啓発などの各種事業を実施する。

（2）　組　　織



3 学校保健年間事業計画（令和８年度）

	事業名	対象者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
各種検診等	内科	幼・小・中													〔学校〕7月～翌1月：未受診者個別健康診断 〔認こ〕9月～11月(2回目)
	歯科	幼・小・中													〔学校〕7月～翌1月：未受診者個別健康診断 〔認こ〕9月～11月（2回目）
	眼科	幼・小・中													
	耳鼻咽喉科	小1・中2 幼稚園とその他学年は問診票により抽出受診													〔認こ〕9月～11月検診（2回目） ＊問診票により抽出
	心臓	小1・中1													５月:小1・中1　一次 ６月:小1・中1　二次
	脊柱側わん	小5・中1													1次（モアレ）2次（視触診）
	結核	小・中													問診及び校医健診結果を踏まえ、精検対象者を抽出し、専門医療機関（高槻赤十字病院）へ紹介。 ※転入者が精検となった場合は随時実施
	尿	幼・小・中													10月は一次検査陽性者のみ 〔認こ〕6月(1回目)、11月(2回目) ＊2次検査なし
	発育測定	幼・小・中													〔学校〕4～6月に2計測　他は1～2計測 〔幼・認こ〕（4月・9月・1月・3月）2測定
	視力・聴力	幼・小・中													
	就学時健康診断	就学予定者													内科・歯科・視力
環境衛生検査	プール水質検査	幼・小・中													学校薬剤師等による検査
	照度・まぶしさ、空気、飲料水検査	幼・小・中													検査結果報告書の提出 学校・教育委員会に改善点の指導・助言
	ダニアレルゲン検査	幼・小・中													幼・認こ・保育幼稚園総務課に改善点の指導・助言
保健機器検査	オージオメータ校正検査	幼・小・中													2年に1回検査（偶数年度に実施）
	計量器検査	幼・小・中													2年に1回検査（奇数年度に実施）
保健事業	口腔清掃指導	小3・中1													
	むし歯予防啓発	幼・保護者													幼・認こ・(保護者) 講演・ブラッシング指導 実施報告書の提出 反省と次年度の取組検討
	肥満児対策	幼・小・中													〔学校〕血液検査　自己負担 〔幼・認こ〕栄養指導のみ 文書による追指導あり
	学校保健会	幼・小・中													研究課題への取組とりまとめ
	学校保健安全委員会	幼・小・中													健康診断・環境衛生検査・安全点検 その他、保健または安全に関する事項の計画立案等 〔認こ〕学校保健安全委員会あり

※　幼保連携型認定こども園における園児の健康診断については、学校保健安全法および施行規則に準じて、実施

4　日本スポーツ振興センター災害共済

（１）制度の概要

本市の公立小・中学校に在学する児童生徒及び公立幼稚園に在園する園児の不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結んでいる。

小・中学校及び幼稚園の管理下において災害に遭った場合、その治療費等の給付を保護者へ行う。

（２）医療費給付状況（令和７年度）

区　　分	給付件数（件）	給付金額（円）
小　学　校	988	1,858,348
中　学　校	820	2,039,583
幼　稚　園	22	114,828
計	1,830	4,012,759

5　全国市長会学校災害賠償補償保険

（１）制度の概要

本市の公立小・中学校及び公立幼稚園において発生する施設の瑕疵ならびに業務遂行上の過失に起因する事故に備えて、全国市長会の学校災害賠償補償保険に加入している。

（２）保険金給付状況（令和７年度）

区　　分	身体事故		財物事故	
	件数（件）	保険金（円）	件数（件）	保険金（円）
小　学　校	0	－	0	－
中　学　校	0	－	0	－
幼　稚　園	0	－	0	－
計	0	－	0	－

学　校　給　食

1　学校給食の目標

（1）適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
（2）日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
（3）学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
（4）食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
（5）食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
（6）我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
（7）食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2　学校給食の実施状況

（1）学校給食実施状況

（令和８年５月１日現在）

	小　学　校	中　学　校
学校数	４１校	１８校
給食実施人員	１６，２９６人	７，７８７人
年間給食回数	最大１９６回	最大１９６回

（2）給食費(令和８年度)

		小　学　校	中　学　校
１食当たりの給食費		３００円	３６０円
内訳	主食	５１円	６１円
	牛乳	７６円	７６円
	副食	１７３円	２２３円

※令和８年度は小・中学校ともに給食費を無償化

（3）献立
ア　主食（ごはん・パン）、副食（おかず２～３品）、牛乳の完全給食とする。
イ　統一献立（小学校と中学校では献立を一部変更する日がある）で、食材は一括購入とする。
ウ　米飯給食は週３回程度とする。
エ　食物アレルギーの対応は、医師の指導のもと、家庭でも除去食を実施している児童生徒に鶏卵、うずら卵、牛乳の除去食を実施する。

（4）調理方式

自校の給食調理室で調理する「自校調理方式」及び、他校の給食調理室で調理し配送する「親子調理方式」で実施する。

親子の組合せ

子校	親　校	子校	親　校
富田小	赤大路小	阿武野中	南平台小
第一中	寿栄小	五領中	上牧小
第三中	如是小	城南中	津之江小
第六中	第十中	川西中	第四中
第七中	柱本小	如是中	五百住小
第八中	若松小	冠中	冠小
第九中	北清水小（２・３年生分） 安岡寺小（１年生分）	芝谷中	第二中（２・３年生分） 北日吉台小（１年生分）
柳川中	玉川小		

※子校に記載していない学校は自校調理

3　文部科学省学校給食摂取基準と本市摂取栄養量との比較（令和７年度）

	基準値				市年間平均			
	小学校			中学校	小学校			中学校
	低学年	中学年	高学年		低学年	中学年	高学年	
エネルギー（kcal）	530	650	780	830	545	598	650	736
たんぱく質エネルギー比（%）	学校給食による摂取エネルギー全体の 13～20				16.7	16.4	16.2	16.3
脂質エネルギー比（%）	学校給食による摂取エネルギー全体の 20～30				28.9	27.8	26.9	26.6
カルシウム（mg）	290	350	360	450	319	327	337	360
鉄（mg）	2.0	3.0	3.5	4.5	2.7	3.1	3.3	3.7
ビタミンA（μgRAE）	160	200	240	300	257	277	296	338
ビタミンB1（mg）	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5
ビタミンB2（mg）	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6
ビタミンC（mg）	20	25	30	35	19	20	22	28
食物繊維（g）	4.0 以上	4.5 以上	5.0 以上	7.0 以上	4.2	4.7	5.2	5.9

教育センター

1 施 設 概 要

（1）所 在 地

高槻市城内町１番１号　　電話（代）675 - 0398 ・ FAX 675 - 3241

（2）設 置

昭和27年 4月 1日	教育研究所として設置
平成 9年 4月 1日	教育センターに改組
平成14年 4月 1日	教育会館併設

2 令和８年度事業概要

（1）教 職 員 研 修

基本研修	○教職員の経験段階や職務に応じて必要な知識・技能の習得を図る研修の実施 ア　基礎研修 ・初任者研修（1年次・2年次） ・新規採用者研修 養護教諭、栄養教諭、学校事務職員 ・教職経験者研修 フレッシュ教員研修 中堅教諭等資質向上研修（6年次・11年次） イ　職能別研修 ・管理職研修 校長、教頭、新転任校長・教頭 ・教務主任等研修 ・その他職能に応じた研修 養護教諭、学校事務職員、栄養教職員、等
専門研修	○教職員の経験年数やニーズ等に応じて専門的知識・技能の習得を図る研修の実施 ア　教科等研修 イ　領域別研修 学校経営、人権教育、国際理解教育、特別支援教育、生徒指導、キャリア教育、教育相談、情報教育等 ウ　教育課題研修 健康教育、環境教育、学校安全等 エ　カリキュラム研修
特別研修	○現在の教育課題を明確にし、教職員の職務上必要な識見を高め、幅広い資質・能力の向上を図る研修の実施 ア　夏季教育セミナー イ　ステップアップ研修 ウ　派遣研修

（２）英語教育の充実

英語教育充実	○全小中学校に合計１５名の外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置する。小中学校が連携しながらＡＬＴを活用し、言語活動を通して、身近なことを表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成をめざす。また、各中学校区において９年間を通した外国語教育の研究を行う。 ○外国語担当者会、加配教員連絡会、及び外国語活動・外国語科研修を行い、教員の指導力向上に努める。 ○全小学校の１・２年生を対象に、ＤＶＤ教材（ＤＲＥＡＭ）を用いて短時間の英語学習を行う。

（３）調　査　研　究

共同調査研究	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究 「『目標と指導と評価』の一体化を図る授業づくり」について全校で研究を進めるとともにＰＤＣＡサイクルを意識した授業改善推進計画書をもとに各学校と教育センターの往還を図る。
教育センター研究校区調査研究	○「学習指導拠点校区」令和５年度～（１中学校区） ○「子どもも大人も探究し続ける授業づくり」令和７～８年度（１中学校区）
カリキュラムの研究・開発	○教育課程編成に関わる研究及び情報提供 「カリキュラム情報資料室」の活用（教育資料・情報の収集と整理・保管・貸出）

（４）教　育　相　談

面接教育相談	○心理・ことばの発達、不登校など、教育上課題のある子どもや保護者の教育相談（668-5855）
電話教育相談	○子どもや保護者の教育上の不安や悩みに関する電話相談（673-0783）
不登校児童生徒支援室（エスペランサ）	○心理的な要因で不登校状態にある児童生徒に対して、不登校児童生徒支援室（エスペランサ）での多様な活動を通して、集団生活への適応を促し、学校生活への復帰や社会的自立の支援を行う。 （毎週、月・火・木・金曜日の４日間　午前 10 時 30 分～午後 3 時） ○中学校区に不登校等支援員を配置し、不登校等の生徒指導上の課題解決への取組の支援を行う。

（５）情報教育の充実

ICTを活用した授業の推進	○子どもたちが情報やＩＣＴを主体的に選択・活用するとともに、情報を積極的に発信することのできる基礎的な資質や能力を養うための授業研究の推進を図る。また、児童生徒１人１台端末を効果的に活用するとともに、情報活用能力（情報モラル教育を含む）を育む授業づくりの推進を図る。

3　令和７年度実績

（１）教職員研修

〈令和７年度の研修体系及び研修回数と参加人数〉※ 一部のオンデマンドの研修を含む

実施体系と主な研修		実施状況		
分類	項目	回数	重複	参加人数
基本	基礎（初任者・新規採用・中堅教諭研修等）	97 回	12 回	1,907 人
	職能別（管理職・教務主任等）	44 回	17 回	1,042 人
専門	教科別（学習指導・教科等）	60 回	12 回	1,345 人
	領域別（学校経営・人権教育等）	77 回	28 回	1,964 人
	課題別（学校安全・環境教育等）	10 回	4 回	173 人
	カリキュラム	8 回	0 回	317 人
特別	特別（夏季教育セミナー・派遣研修等）	6 回	0 回	2,743 人
	その他（へき地等学校研修）	2 回	0 回	4 人
計（内容別 52 研修）		304 回	73 回	9,495 人

〈令和７年度の校内授業研究支援　実施のべ回数と参加のべ人数〉

内　　容		小学校		中学校	
		回数	参加人数	回数	参加人数
校内授業研究支援	授業改善等に関する講義	35 回	1,050 人	20 回	470 人
	単元学習指導案検討会等	120 回	353 人	63 回	278 人
	研究授業及び研究協議	47 回	897 人	28 回	393 人
計		202 回	2,300 人	111 回	1,141 人

（２）調査研究

＜令和７年度　教育センター研究校区＞
【子どもも大人も探究し続ける授業づくり】
第七中学校区

＜令和５年度～　教育センター研究校区＞
【学習指導拠点校区】
第一中学校区

（３） 教育相談

ア 面接教育相談

主訴別相談件数

	合計
不 登 校	60
神経症・緘黙	12
対人・友人関係	12
い じ め	0
子育て・しつけ	14
問題行動	2
発　　達	83
こ と ば	79
そ の 他	1
合　　計	263

月別のべ相談回数　（単位：回）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
147	167	185	193	153	157	191	165	166	151	158	169	2,002

イ 電 話 相 談

内容別電話相談総件数

	計
人　生	2
家　族	0
対　人	0
保　健	3
教　育	148
情　報	2
その他	6
計	161

内容別教育相談件数

	合計
不 登 校	16
神経症・緘黙	3
対人・友人関係	4
い じ め	7
子育て・しつけ	18
問題行動	5
発達・ことば	44
学校・教師	35
そ の 他	16
合　　計	148

電話相談における月別相談件数　（単位：件）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
20	17	11	23	11	12	12	7	11	13	15	9	161